

3 - 6 関東地方南部の地殻変動

Crustal Movement in the South Kanto District

国土地理院地殻調査部

Crustal Dynamics Department, Geographical Survey Institute

関東地方南部で昭和54年8月から昭和50年1月にかけて実施した、水準測量及び精密変歪測量結果について報告する。

第1図及び第2図には甲府から八王子を経て水準原点に至る路線の今回と前回の変動グラフを示してある。勝沼町から石和町にかけての10cmに達する沈降現象は1931年以後に見られるが、これは地盤沈下と造盆地運動の影響と考えられる。

第3図は水準原点から千葉県原点に至る路線の前回までの測量との比較結果で、最上段が今回得られた変動、下段に過去2回の変動グラフを示してある。全般に地殻変動としては特に大きな変化は認められないが、前回同様千葉市内に隆起が見られる。

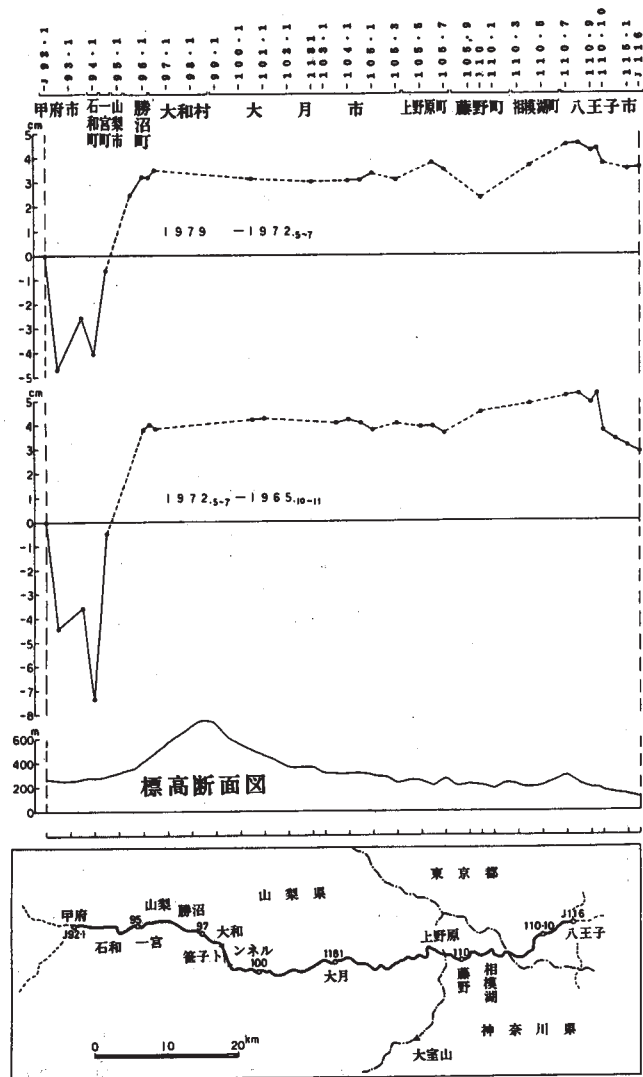
第4図及び第5図は水準原点から横浜市までの今回と過去2回の変動グラフを示してある。第4図では横浜が少し沈下、第5図では川崎市以南に大きな沈下が見られるが、傾向が前回と対称的であるため誤差の累積とも考えられる。

第6図は三浦半島を一周する東岸・西岸のコース別路線の変動グラフを示してある。今回は特に有意な変化は認められない。

表1及び第7図は関東南部と東海地方で実施した精密変歪測量結果とその経年変化を示してある。今回変化が見られる駒ヶ岳－巢雲山間は伊豆半島東部における隆起現象に関連があるかも知れない。

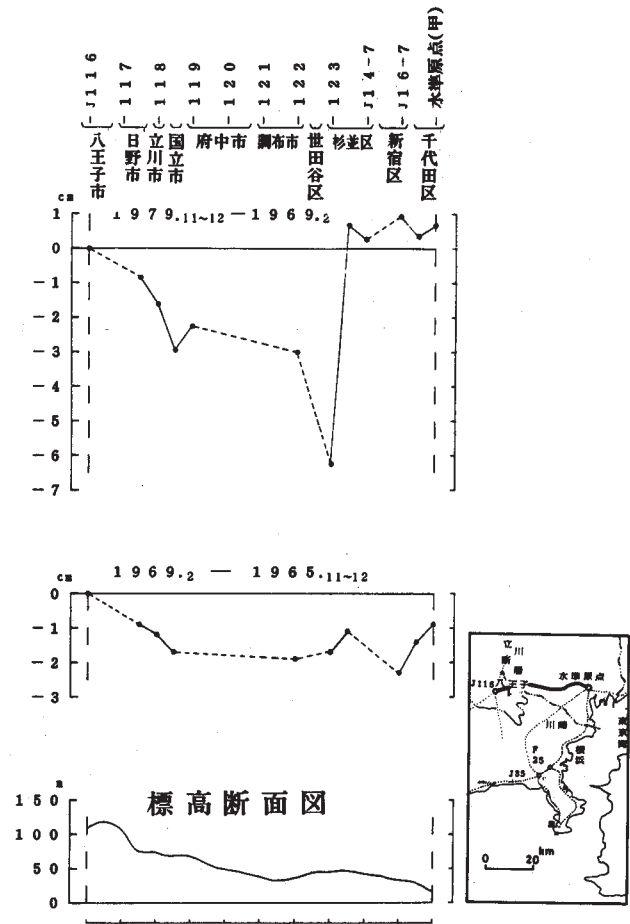
参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部・地殻活動調査室：南関東の地殻変動，連絡会報，**8**（1972），23 - 26.
- 2) 国土地理院測地部・地殻活動調査室：八王子－甲府間の上下変動，連絡会報，**9**（1973），66 - 67.
- 3) 国土地理院測地部：関東南部辺長変化，連絡会報，**12**（1974），33.
- 4) 国土地理院測地部：東京とその周辺の上下変動，連絡会報，**18**（1977），23 - 26.
- 5) 国土地理院測地部：関東南部の上下変動，連絡会報，**20**（1978），38 - 40.
- 6) 国土地理院測地部：関東地方南部の上下変動，連絡会報，**22**（1979），49 - 52.



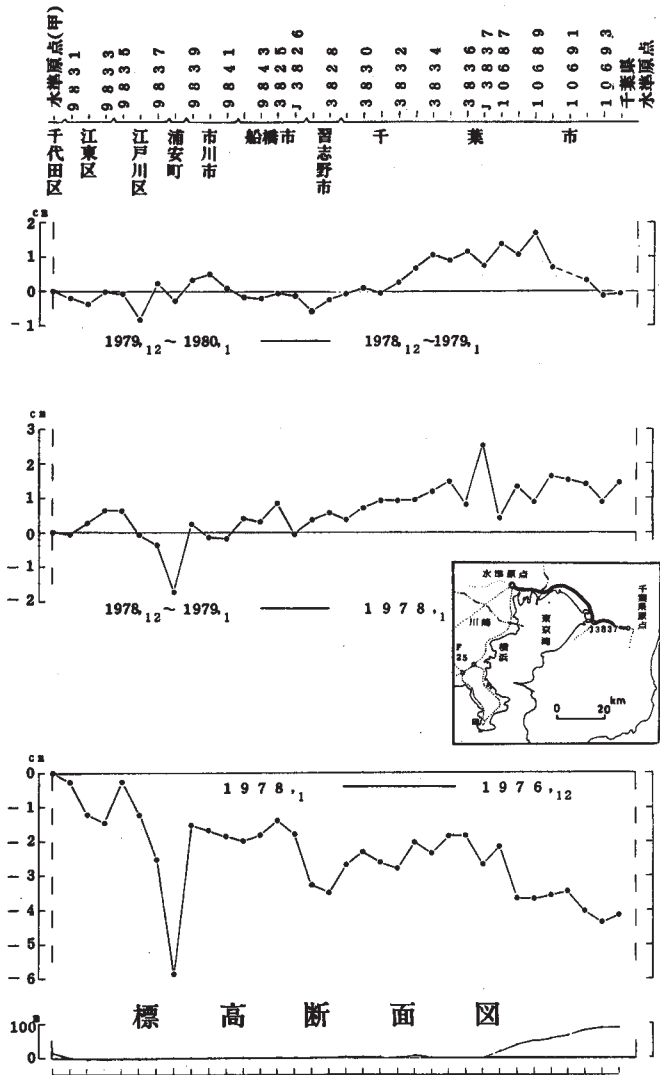
第1図 甲府-八王子間の上下変動

Fig. 1 Vertical movements between Kofu and Hachioji.

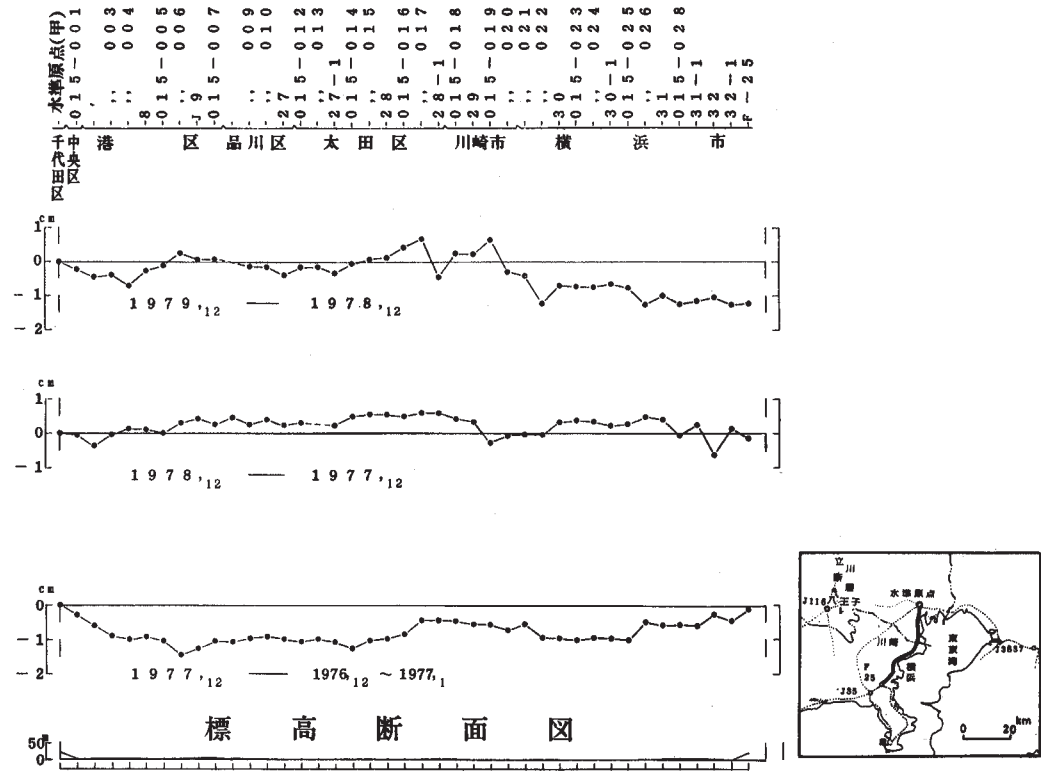


第2図 八王子-水準原点(甲)間の上下変動

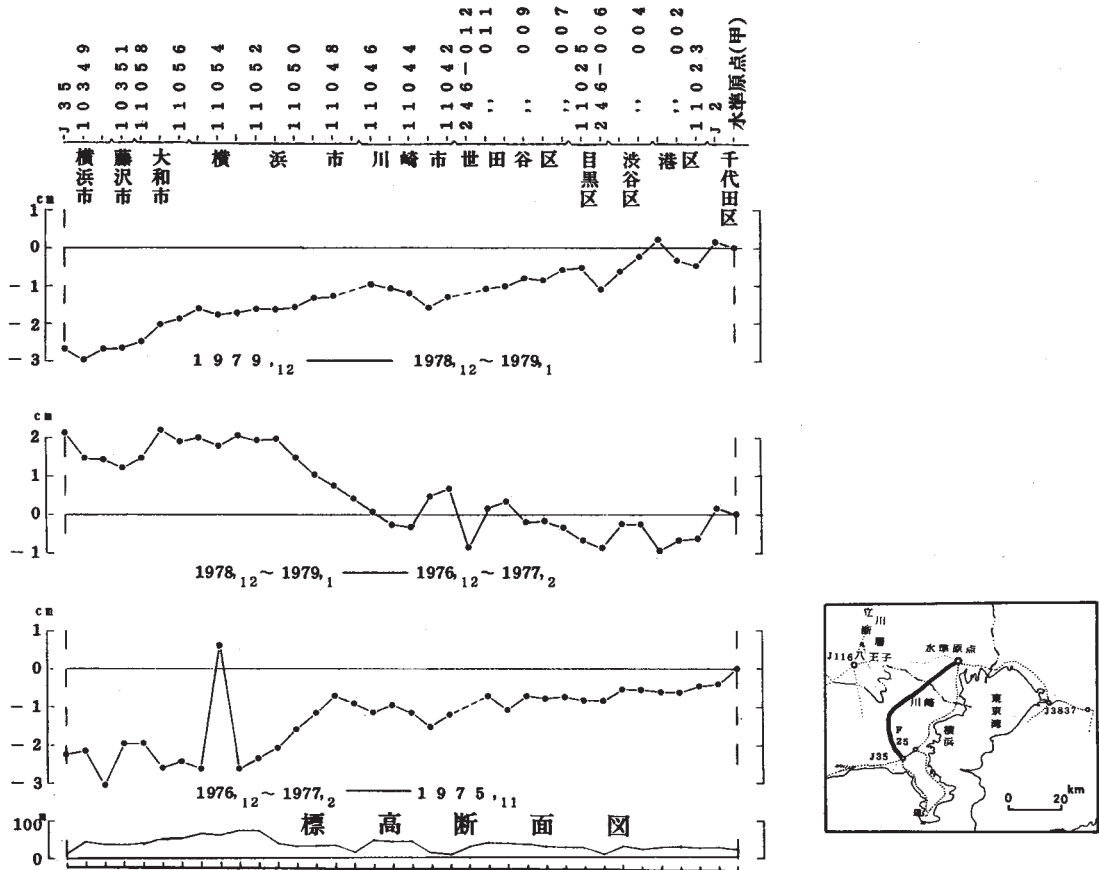
Fig. 2 Vertical movements between Hachioji and Datum.



第3図 水準原点（甲）-千葉原点間の上下変動
Fig. 3 Vertical movements between Datum and Chiba Datum.

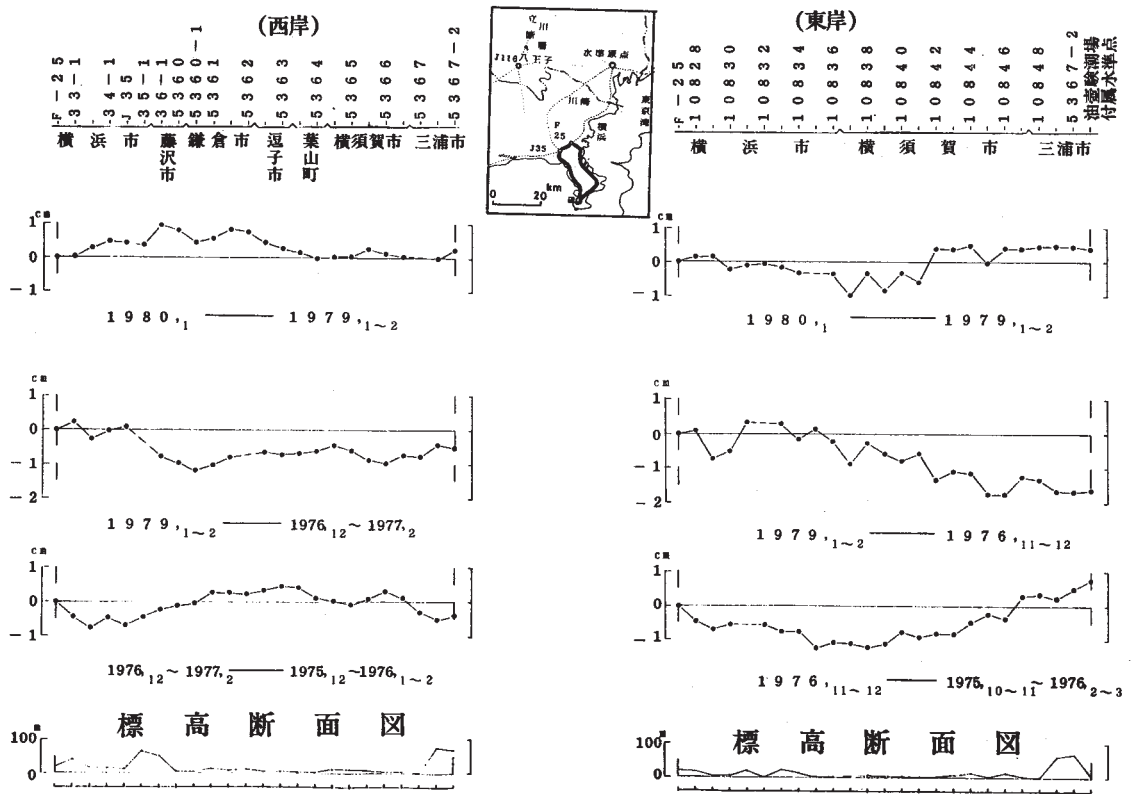


第4図 水準原点（甲）-横浜間の上下変動
Fig. 4 Vertical movements between Datum and Yokohama (F-25).



第5図 水準原点(甲)-横浜間(国道246号線経由)の上下変動

Fig. 5 Vertical movements between Datum and Yokohama along the Route No. 246.



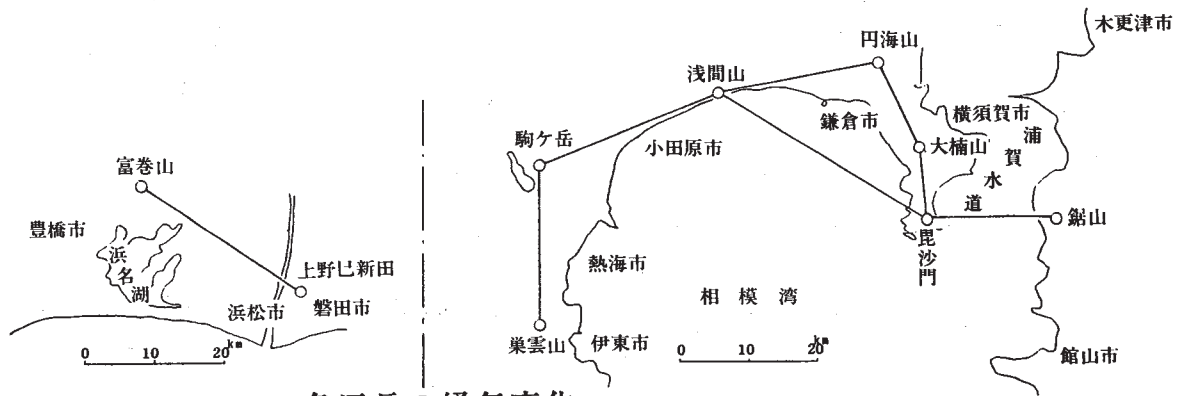
第6図 三浦半島の上下変動

Fig. 6 Vertical movements in the Miura Peninsula.

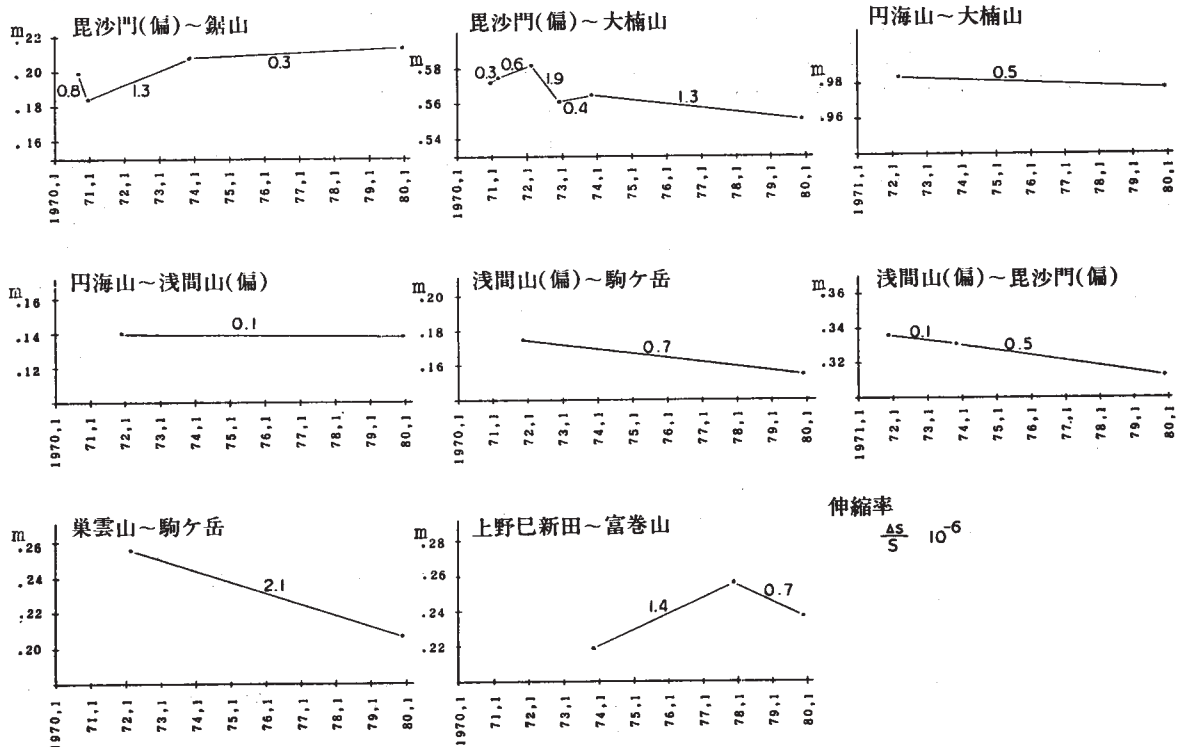
第1表 関東南部・東海地方精密変歪測量結果

Table 1 Results of side-length measurements in the South Kanto and Tokai District.

区間	観測年	1970,8	1970,12	1971,2.3	1971,11.12	1972,2	1972,12	1973,10.11	1977,11	1979,11.12
毘沙門(偏)～鋸山		17848.20 ^m	.18	— ^m	— ^m	— ^m	— ^m	.21 ^m	— ^m	.21 ^m
同～大楠山		—	11038.57	.58	—	.58	.56	.56	—	.55
円海山～同		—	—	—	—	12704.98	—	—	—	.98
同～浅間山(偏)		—	—	—	26201.14	—	—	—	—	.14
浅間山(偏)～駒ヶ岳		—	—	—	27871.18	—	—	—	—	.16
同～毘沙門(偏)		—	—	—	35819.34	—	—	.33	—	.31
巢雲山～駒ヶ岳		—	—	—	—	24193.26	—	—	—	.20
上野巳新田～富巻山		—	—	—	—	—	—	26975.22	.26	.24



各辺長の経年変化



第7図 関東南部・東海地方の辺長経年変化

Fig. 7 Secular changes of side-lengths in the South Kanto and Tokai District.